

第1回 美瑛川地区かわまちづくりワーキンググループ 主な意見

日 時：平成27年11月6日(金)

場 所：ムスタッシュ・ボス（美瑛町美沢）

参加者：ワーキングメンバー（尾形委員、太田委員、船城委員、岩佐委員、みやけ委員、塚田委員、石谷委員（柿沼委員代理））以上7名 ワーキング事務局（美瑛町、旭川開建）

○サイクリングロードの整備について

- ・モニュメント的な美瑛の川というのがわかるような看板があった方がよい。
- ・サイクリングロードとして利用するには草刈りがある程度必要。
- ・長く使ってもらえるようにするには、維持に力を入れた方がよいのではないか。
- ・美沢橋は、自動車運転手に対する減速表示の看板等が設置できないか。
- ・美瑛の町からサイクリングロードへの誘導は工夫が必要ではないか。
- ・日の出橋、美聖橋にアンダーパスが整備できないか。
- ・サイクリングロードにラインを引いた方がよい。

○サイクリングロードの利活用について

- ・子供たちが川と親しめるようにすべき。
- ・町民の人たちが健康づくりの場などとして使ってもらえるようにすべき。
- ・子供たちを対象としたイベントを検討できないか。
- ・できるだけ、沿線の店に人が流れるような仕組みを考えるべき。

○自動車の乗り入れについて

- ・農家の人による川側への自動車移動は許容すべき。
- ・道が狭いため自動車が通れるようにするのは、危険ではないか。
- ・自動車と分離して川の音を聞きながらサイクリングを楽しめるようにすべき。駐車場も少ない方がよい。
- ・農家の人を利用する際に車止めの鍵を使って開けてもらい横断してもらった方がよい。

○樹木伐採について

- ・木がありすぎるので伐採するのであれば、全部伐採してすっきりさせた方がよい。
- ・畑側の木も休憩するポイントのところは木を伐採した方がよい。
- ・風よけもあり丸見えよりは、ある程度木は残しておいたほうがよいのではないか。
- ・場所によって木を切る範囲を検討する方がよい。
- ・桜などを植樹してはどうか。
- ・果物の木など植えてはどうか。

○サポート体制の構築について

- ・トラブルがあったときのサポート体制について沿線のお店の協力を検討してほしい。
- ・サイクルステーション的な施設の設置を検討する必要がある。